

[基本教育科目/表現力の養成]

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
基礎韓国語	NLA11_005	選択	1	1	前期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
成 昌燮	教員控室	syosyo_sei	授業終了後		
授業の目的・概要	隣国である韓国の文字を覚えるとともに、この言語の構造を理解する。韓国語の発音ルールを覚え、簡単な日常挨拶文が読める、書けるようになるのを目的とする。スキャンした教科書内容をPower Pointで確認しながら行う。授業中随時指名して発音を確認する。				
学習上の助言	韓国語の基本母音・子音・合成母音・パッチムを正確に発音し書けるように練習する。文法的に日本語に似ているが、難しい発音があるので、聞き取り・書き取りにポイントをおいて練習する。必要な内容はDVDを鑑賞しながら確認し、理解を深めて欲しい。				
教科書	トライ韓国語 1 /著: 朴校熙・黄善英・崔昌玉・木村春菜 /白帝社 /2020				
参考書	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	言語の構造を理解し、文字を覚える。		HSU(2)		
②	日常会話ができるように、簡単な会話文を書けるようにする。		HSU(2)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	韓国語の言語名称、文字の成立、言語の特徴を学ぶ。基本母音 10 個を学ぶ。	講義 演習	教科書を読む。基本母音 10 個の発音練習と書き練習をする。		
2	第 1 課: 안녕하세요?(こんにちは。) 基本母音 10 個と合成母音 4 個を学ぶ。	講義 演習	教科書を読む。母音の発音と書き順を覚える。		
3	第 1 課: 안녕하세요?(こんにちは。) 基本母音 10 個と合成母音 4 個を復習。	講義 演習	教科書を読む。練習問題 1~5 を完成する。		
4	第 1 課: 안녕하세요?(こんにちは。) 総合練習問題の文字の辞書順、読み方、書き練習をする。	講義 演習	教科書を読む。Try の空欄を埋める。		
5	第 2 課: 감사합니다。(ありがとうございます。) 基本子音 14 個(基本字 5 個+加画字 9 個)を学ぶ。	講義 演習	教科書を読む。子音と会話文を復習する。		
6	第 2 課: 감사합니다。(ありがとうございます。) ハングルの半切表を書く。子音の「가나다라」の歌を聞き、練習問題を解く。	講義 演習	教科書を読む。Attention の音声聞きながら発音に注意する。総合練習を完成する		
7	第 3 課: 안녕히 가세요.안녕히 계세요.(さようなら。) 濃音 5 個を学ぶ。練習問題を解く。	講義 演習	教科書を読む。濃音と平音、激音の発音の違いに要注意。総合練習問題を完成する。		
8	第 4 課: 고맙습니다。(ありがとうございます。) 「ㄱ」行の合成母音 7 個を学ぶ。	講義 演習	教科書を読む。「ㄱ」の発音変化を復習する。		
9	第 5 課: 미안합니다.(すみません。) 終声子音(パッチム) を学ぶ。	講義 演習	教科書を読む。パッチムの三大原則をしっかり覚える。		
10	パッチムの種類・読み方、連音化を学ぶ。	講義 演習	パッチムの種類とその表記を覚える。		
11	第 6 課: 처음 뵈겠습니다。(初めまして。) ㄱの弱化、濃音化、激音化、流音化、鼻音化を学ぶ。	講義 演習	教科書を読む。平音・濃音・激音の区別を復習する。		
12	第 7 課: 대학생입니다。(大学生です。) ~입니다/ 입니까? (~です/ですか)、~는/은(~は)を学ぶ。	講義 演習	教科書を読む。自己紹介できるように復習する。		

[基本教育科目/表現力の養成]

13	第 8 課: 그게 뭐예요?(それは何ですか。) ~예요/이에요( ~ です)、~가/이( ~ が)を学ぶ。	講義 演習	教科書を読む。합니체と해요体の違いを復習する	0.5			
14	第 10 課: 漢数字を学ぶ。 第 11 課: 固有数字を学ぶ。	講義 演習	教科書を読む。漢数字と固有数字を復習する	0.5			
15	定期試験練習問題について解説する。これまでの学習内容を DVD で確認し、韓国ドラマを鑑賞する。	講義 演習	テスト範囲の内容を復習する。	9			
試	定期試験(登校実施)						
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		80	0	0	0	20	100
総合力指標	知識・技術力	80	0	0	0	0	80
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	0	0
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	10	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点			フィードバックの方法		
試験	①	✓	定期試験の結果を 80 点に評価する。			定期試験の練習問題を配布・説明する。	
	②	✓					
レポート	①						
	②						
成果発表	①						
	②						
ポートフォリオ	①						
	②						
その他	①	✓	授業中に学生を指名して発音を確認する。 積極的な発言と出席が求められる。			授業中に発音を訂正する。	
	②	✓					
備 考							
<p><b>教員の実務経験:</b> 大学入試センター教科科目第一委員会委員を務めた経験がある。</p> <p><b>実践的授業の内容:</b> 必要な語彙や文法を学び、日常挨拶文を学習する。</p> <p>発音練習、書く練習が多いため、感染予防対策 (マスク着用、手指消毒など) を徹底したうえで講義を行う。 今後の新型コロナウイルス感染症状況によって再度シラバスの変更が行われることもある。</p>							